

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	環境論		
英文授業科目名	Environmentology		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-総合講義		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	武笠 行雄 ほか		
居室	東1-804(武笠)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
mukasa@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：多くの人々の関心を呼び、解決を迫られている環境問題の中から、主として生態系に関わる諸問題の現状と意味を理解する。</p> <p>(b) 達成目標：環境問題の実際を理解し、今日の科学技術の果たすべき役割を自覚して自らも問題を設定し、簡単なレポートを書けるようになること。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
なし。参考資料は適宜、講義中に配布します。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

第1回：ガイダンス（第1回レポート課題）

第2回：酸性雨と土壌生態系

第3回：都市の緑化と水環境

第4回：森林衰退と環境ストレス

第5回：樹木の大气汚染ガスと酸性降下物の影響

第6回：大型野生生物から見た日本の自然

第7回：野生生物との共存

第8回：環境変動と樹木の年輪

第9回：人間社会と森林の利用

第10回：気球温暖化と森林

第11回：中間まとめ（第2回レポート課題）

第12回：森林における自然浄化機能

第13回：森林消失と土砂災害

第14回：森林の水保全 - 緑のダム

第15回：予備日

(b) 授業の進め方：生態系に関わる専門家の連続講義の形式を採る。毎回の講義で課される小レポートの他に論文形式の2回レポートを課す。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：期末レポート（第2回レポート）100%

(b) 評価基準：

最低達成基準:期末レポートの課題に対して自らの考えを明瞭に論述できること。

電気通信大学 平成20年度シラバス

ただし、以下の条件が満たされていなければ、期末レポートは受理されない。

1. 第1回レポートが受理されていること
2. 毎回の講義で課される小レポートの80%が受理されていること

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールで事前に予約を取ること。

【学生へのメッセージ】

電気通信大学には殆どいない生態系の専門家を招いての異色の講義です。環境に関する知識の習得と共に、自ら問題を発見し、解決して行く意欲を開発して欲しいと思います。

【その他】